

タイトル「**2023年度大学院危機管理学研究科(公開用)**」、フォルダ「**大学院危機管理学研究科**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー			
科目名	危機管理学研究演習Ⅱ		
担当教員	岡田 太		
対象学年	1年,2年	開講学期	後期
曜日・時限	月 2		
講義室		単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	統合演習		
科目中分類	危機の大学院修士課程カテゴリ		
科目小分類	4 統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D P コード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP2 [学識・専門技能] 災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代の様々な危機を分析し解決するための、法学、政治学、国際関係学等の社会科学の知見を統合した応用的な知識と技能（30%） DP3 [思考力・判断力・表現力] 客観的な情報やデータをもとに論理的に考察し説得的に表現する力（50%） DP4 [主体性・多様性・協働性] 多様な価値観や立場を尊重しつつ、自らの明確な考えをもとに、他者とコミュニケーションを確立する能力（20%）		
教員の実務経験	特になし。		
成績ターゲット区分			
科目概要・キーワード	危機管理学とその基礎となる法学に関する研究活動を実践するために、必要な社会科学的研究手法を学び、学生が自らテーマを設定し、論文を執筆し、成果を発表するための指導を行います。本演習では、危機管理学、法学に関する研究論文の執筆にあたっての、論文のアウトライン策定と考察・叙述、ディスカッションの活性化、プレゼンテーションの実質化を含む基礎的研究プロセスを扱います。これらの研究プロセスを通じて、学識・専門技能に加え、判断力・思考力・表現力、更には主体性・計画性・協働性等の汎用的能力を開発することを目的とします。 授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：官民連携、災害危機管理、フィールドワーク		
授業の趣旨	■副題 企業と自治体が連携する災害危機管理研究の実践 ■授業の目的 官民連携の観点から災害危機管理の課題を抽出して仮説を構築し、文献調査やフィールドワーク、アンケート調査などを通じて検証し、実践的な問題解決を提起する一連の研究活動を行うことが目的です。 ■授業のポイント 危機管理学研究演習Ⅰで立案した研究計画をもとに、受講生自身が主体的に研究を進めていきます。定期的に論文の中間発表と議論を行い、論文の完成を目指します。		
総合到達目標	■仮説検証型の研究プロセスを修得し、主体的に研究活動に取り組むことができる。 ・官民連携における災害危機管理の現状を述べることができる。 ・官民連携における災害危機管理の課題を発見し、説明することができる。 ・官民連携における災害危機管理の課題に関して必要な情報を収集し、分析することができる。 ・官民連携における災害危機管理の課題から問題意識を明確にし、仮説を構築することができる。 ・フィールドワークやアンケート調査などを通じて、仮説を検証し、その結果を的確に解釈することができる。 ・仮説検証をふまえて、実践的な問題解決を提案することができる。 ■発表や議論を通じて、災害危機管理の学術研究に必要なリテラシーを身に着けることができる。 ・より高い水準の論文を作成することができる。 ・より高い水準のプレゼンテーションを行うことができる。 ・質疑応答や改善のためのアドバイスなどについて、より高い水準のコミュニケーションを行うことができる。		
成績評価方法	■授業内での発表と論文(80%) ・発表（30%）(D2,3,4) ・論文（50%）(D2,3) （評価の観点） 先行研究のレビュー、研究課題（リサーチエスチョン）と仮説構築、仮説の検証方法、問題解決の提案および結論について総合的に評価します。 発表については資料作成や説明、質疑応答、論文については論理性や客観性、妥当性などです。 （フィードバックの方法） 各自の研究発表後または論文作成後に、評価・アドバイスをを行います。 ■授業参加 ・発表に対するコメントや意見交換、質疑応答（20%）(D4) （評価の観点） 発表者に気づきや改善を促すようなものであるかについて評価します。 （フィードバックの方法） 各自の研究発表後に、演習中に適宜評価・アドバイスをを行います。		
履修条件	危機管理学研究演習Ⅰを履修していること。		

履修上の注意点	共同研究を希望する場合は、事前に相談してください。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 研究計画の作成（研究キックオフ） ②授業概要 企業と自治体が連携する危機管理の現状と課題について研究計画を確認する（発表・議論）（DP2,3,4）。 ③予習(120分) 危機管理学研究演習Ⅰで作成した研究計画を改善し、発表の準備を行う。 ④復習(120分) 研究計画の具体的なタイムラインを設定し、準備を進める。
	2	①授業テーマ 先行研究のレビュー(1) ②授①授業テーマ 先行研究のレビュー(1) ②授業概要 企業と自治体が連携する危機管理について各自が設定したテーマに関連する主要な先行研究のレビューを行う（発表・議論）（DP2,3,4）。 ③予習(120分) 先行研究をレビューし、発表の準備を行う。 ④復習(120分) 発表・議論を振り返り、レビューの内容を整理し、文章にまとめる。
	3	①授業テーマ 先行研究のレビュー(2) ②授業概要 企業と自治体が連携する危機管理について各自が設定したテーマに関連する主要な先行研究のレビューを行う（発表・議論）（DP2,3,4）。 ③予習(120分) 引き続き先行研究をレビューし、発表の準備を行う。 ④復習(120分) 発表・議論を振り返り、前回同様レビューの内容を整理し、文章にまとめる。
	4	①授業テーマ 先行研究のレビュー(3) ②授業概要 企業と自治体が連携する危機管理について各自が設定したテーマに関連する主要な先行研究のレビューを行う（発表・議論）（DP2,3,4）。 ③予習(120分) 引き続き先行研究をレビューし、発表の準備を行う。 ④復習(120分) 発表・議論を振り返り、前回同様レビューの内容を整理する。前2回とあわせて先行研究のレビューを完成させる。
	5	①授業テーマ 研究課題（リサーチエスチョン）の設定と仮説の構築 ②授業概要 企業と自治体が連携する危機管理について行った先行研究のレビューをもとに、研究課題（リサーチエスチョン）を設定し仮説を構築する（発表・議論）（DP2,3,4）。 ③予習(120分) 研究課題（リサーチエスチョン）の設定と仮説の構築を行い、発表の準備をする。 ④復習(120分) 発表・議論を振り返り、研究課題（リサーチエスチョン）と仮説の妥当性を再検討し、文章にまとめる。
	6	①授業テーマ フィールドワーク・アンケート調査に向けての準備と実施(1) ②授業概要 各自が設定した研究課題（リサーチエスチョン）に対する仮説を検証するために、フィールドワークまたはアンケート調査の準備を行う（発表・議論）（DP2,3,4）。 ③予習(120分) フィールドワークまたはアンケート調査の準備を行う、発表の準備をする。 ④復習(120分) 発表・議論を振り返り、フィールドワークまたはアンケート調査の内容を精査し、準備を進める。
	7	①授業テーマ フィールドワーク・アンケート調査に向けての準備と実施(2) ②授業概要 各自が設定した研究課題（リサーチエスチョン）に対する仮説を検証するために、フィールドワークまたはアンケート調査の準備を行う（発表・議論）（DP2,3,4）。 ③予習(120分) 引き続きフィールドワークまたはアンケート調査の準備を行う、発表の準備をする。 ④復習(120分) 発表・議論を振り返り、フィールドワークまたはアンケート調査の準備を完成させる。
	8	①授業テーマ フィールドワーク・アンケート調査に向けての準備と実施(3) ②授業概要 各自が設定した研究課題（リサーチエスチョン）に対する仮説を検証するために、フィールドワークまたはアンケート調査を実施する（発表・議論）（DP2,3,4）。 ③予習(120分) フィールドワークまたはアンケート調査の実施に向けて最終的な調整を行う。 ④復習(120分) 授業時間外に実施する場合はこの時間を利用する。
	9	①授業テーマ 論文の作成(1) ②授業概要 企業と自治体が連携する危機管理について各自が設定した研究テーマについて、研究の背景・目的から仮説の構築に至るパ

	ートの論文を作成し、発表する（発表・議論）（DP2,3,4）。 ③予習(120分) 論文の草稿を作成し、発表の準備を行う。 ④復習(120分) 発表・議論を振り返り、研究の背景・目的から仮説の構築についての妥当性を再検討し、論文の草稿を加筆・修正する。
10	①授業テーマ 論文の作成(2) ②授業概要 企業と自治体が連携する危機管理について各自が設定した研究テーマについて、研究の背景・目的から仮説の構築に至るパ ートの論文を作成し、発表する（発表・議論）（DP2,3,4）。 ③予習(120分) 引き続き論文の草稿を作成し、発表の準備を行う。 ④復習(120分) 前回同様、研究の背景・目的から仮説の構築についての妥当性を再検討し、論文の草稿を加筆・修正する。
11	①授業テーマ フィールドワーク・アンケート調査の整理と分析(1) ②授業概要 仮説検証を行うために実施したフィールドワークまたはアンケート調査の内容を整理、分析し、考察する（発表・議論） （DP2,3,4）。 ③予習(120分) フィールドワークまたはアンケート調査の内容を整理、分析する。 ④復習(120分) 発表・議論を振り返り、フィールドワークまたはアンケート調査の内容について再検討し、調査内容を改善する。
12	①授業テーマ フィールドワーク・アンケート調査の整理と分析(2) ②授業概要 仮説検証を行うために実施したフィールドワークまたはアンケート調査の内容を整理、分析し、考察する（発表・議論） （DP2,3,4）。 ③予習(120分) 引き続きフィールドワークまたはアンケート調査の内容を整理、分析する。 ④復習(120分) 発表・議論を振り返り、前回同様フィールドワークまたはアンケート調査の内容について再検討し、調査内容を改善する。
13	①授業テーマ 論文の作成(3) ②授業概要 企業と自治体が連携する危機管理について各自が設定した研究テーマについて、仮説検証から結論に至るパートの論文を作 成し、発表する（発表・議論）（DP2,3,4）。 ③予習(120分) 論文の草稿を作成し、発表の準備を行う。 ④復習(120分) 発表・議論を振り返り、仮説検証から結論に至る妥当性と論理性を検討し、論文の草稿を加筆・修正する。
14	①授業テーマ 論文の作成(4) ②授業概要 企業と自治体が連携する危機管理について各自が設定した研究テーマについて、仮説検証から結論に至るパートの論文を作 成し、発表する（発表・議論）（DP2,3,4）。 ③予習(120分) 引き続き論文を作成し、発表の準備を行う。 ④復習(120分) 発表・議論を振り返り、前回同様仮説検証から結論に至る妥当性と論理性を検討し、論文の草稿を加筆・修正する。
15	①授業テーマ 論文の完成と最終発表 ②授業概要 まとめとして、完成した論文の概要を発表する（発表・議論）（DP2,3,4）。 ③予習(120分) 論文の草稿を仕上げ、発表の準備を行う。 ④復習(120分) 発表・議論を振り返り、最終論文を完成させる。
関連科目	「危機管理学研究演習Ⅰ（R5MR0029）」、「危機管理学研究演習Ⅲ（R5MR0031）」、「危機管理学研究演習Ⅳ（R5MR0032）」
教科書	使用しません。
参考書・参考URL	各自が設定した研究テーマに応じて、適宜、紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に伝えます。 ■オフィスアワー 授業の前後、質問や相談に応じます。それ以外の時間帯については、メールで事前にアポイントメントを取ることで、原則オン ラインで対応します。
研究比率	

